

## 柏崎市

### 基礎情報

【人口】 86,833 人 【世帯】 33,560 世帯（平成 27 年度国勢調査より（総務省））

### 【母子・父子世帯数】

母子・父子世帯数 416 世帯（母子世帯 374 世帯、父子世帯 42 世帯）

（統計かしわざき No. 60（平成 22 年国勢調査）より）

### 概要

○ひとり親家庭等日常生活支援事業は、ひとり親に対する支援、相談等の専管部署である福祉保健部福祉課総務係で扱っている。

○柏崎市の日常生活支援事業は、新潟県福祉保健部児童家庭課から社団法人 新潟県母子寡婦福祉連合会へ委託し、下部組織であり任意団体である「柏崎市母子寡婦福祉やまゆり会」が行っている。

○市役所の福祉保健部が社会福祉事務所を兼ねているため、ひとり親に関する関係各所での情報共有、連携がスムーズに行われている。

### 【体制】

柏崎市のひとり親に関する専管部署は福祉保健部福祉課総務係である。主な業務内容はひとり親家庭に対する相談全般の対応である。

- ・常勤 4 名（うち、女性福祉相談員 2 名。社会福祉事務所兼務）

#### （１）ひとり親支援の体制

市民課での住民票の異動手続き等で新たにひとり親になった市民を把握した場合、福祉課で手続きをするよう、市民課で誘導することとしている。手続きに来た人の様子に何らかの異変（元気がない、経済的な困窮が伺われる など）があった場合、積極的に相談を呼びかけている。

柏崎市では、福祉保健部が社会福祉事務所と一体となっており、福祉保健部長が社会福祉事務所長を兼務し、ひとり親の相談相手となる女性福祉相談員は、社会福祉事務所にも所属している。そのため、相談を受けると同時に必要な支援の提案や手続きが進められるなど、社会福祉事務所が別組織となっている自治体に比べ、スムーズな連携を行いやすい環境にある。

#### （２）ひとり親家庭等日常生活支援事業の取組状況等

##### ①事業概要について

本事業は、ひとり親家庭や寡婦の方を対象として、就職活動や疾病、看護、冠婚葬祭、出張等により、子どもの面倒を見られない時や家事や介護が必要な時に、家庭生活支援員（以下、「支援員」と略す）による一時的な生活支援や、子育て支援を行うものである。

##### ②本事業の実施体制と支援の流れ

柏崎市のひとり親家庭等日常生活支援事業は、新潟県福祉保健部児童家庭課が社団法人 新潟県母子寡婦福祉連合会（以下、県母連）へ委託し、県母連の下部組織であり任意団体である「柏崎市母子寡婦福祉やまゆり会」（以下、やまゆり会）が担当している。支援員はやまゆり会から派遣されており、支援の流れは以下の通りである。

- i 利用者から柏崎市福祉保健部福祉課へ利用申請（事前登録）
- ii 支援事由が発生した場合、利用者がやまゆり会へ電話連絡
- iii やまゆり会より利用者へ支援員の派遣
- iv 利用料の支払い

利用申請にあたり、相談者から新潟県地域振興局健康福祉部に登録申請を行うのが本来の手続きルートであるが、柏崎市では福祉保健部福祉課総務係にて申請を受け付け、県に回付している。これにより、児童扶養手当などの手続きに来たひとり親に対して施策内容の紹介だけでなく、その場で利用申請が完了できるメリットがある。

また、柏崎市の女性福祉相談員2人のうち1人は自身もひとり親であることから、より身近な存在として相談対応が可能である。同職員はやまゆり会の会員でもあることから、支援員との連携をスムーズに行いやすい状況にある。

### ③支援組織の特徴

県内の他市町村では支援員を派遣可能な組織が確保できず、実質的に事業実施が困難なケースが多いなか、柏崎市では3名の支援員が登録されている。この背景には、支援員を派遣しているやまゆり会が、任意団体ながら母子会として県内で第2の規模を誇ることで、市役所内の売店を運営するなど収入の基盤が確保されているなど安定した組織運営の基盤を持つことがある。

ひとり親家庭等日常生活支援事業の利用は、事前申請が原則だが、病気など緊急の場合にこそ必要とされる制度であるため、直前の申請にも可能な限り対応している。

その他にやまゆり会の特徴的な事業として、ひとり親家庭の入学お祝い会、クリスマス会やバス旅行を企画・運営している。これらの催しの前半に子育てに関するセミナー等を開催し、子どもの行事と一体的に講習会及び交流会を実施することで、会員でないひとり親家庭でも親子で気軽に参加でき、孤立無援にならないような工夫を行っている。

## 柏崎市母子寡婦福祉やまゆり会 事業紹介リーフレット

**私たち「やまゆり会」は  
こんな活動をしています。**

★ **ひとり親家庭親子ふれあい交流会**  
親子で行く 楽しい  
1泊/日帰りバス旅行  
参加費用は格安です。

こんな所を体験しました

- 上越国際プレイランド
- 福島盤梯高原
- スパリゾートハワイアン
- 高柳キャンプ
- サントピアワールド
- 安曇野忍者村



★ **総会**（子どもさんと一緒に）  
年間の行事報告・行事計画のお知らせと併せて  
お花見などお楽しみ会

★ **カルチャー教室**  
押し花教室  
ぞうり作り教室

★ **クリスマス会**  
親子で料理を作り親睦を固める。

★ **新年会 親子ゲーム大会**  
情報交換 交流会

★ **新1年生入学お祝い会**  
元気に入学できるよう、子育てのお話を聞き、お祝いします。

★ **各種研修会・大会などの参加**  
県大会・中越ブロック研修会  
(保育もありますので安心して参加できます)

★ **日常生活支援事業**  
急な病気・残業・仕事が休めないなど困った時、  
ホームヘルパー・保育士の会員が支援します。  
例えば  
・熱があり保育園に行けない子どもの面倒  
・残業で子どものクラブの  
送迎が出来ない  
・食事作りや住居清掃  
・親の介護  
などなど  
費用は低料金です。

★ **受講料の助成**  
日常生活支援のヘルパー講習を受講した人に  
受講料を助成します。

**新潟県の支援も活用できます**  
**母子家庭等就業自立支援センター**  
就業相談 TEL 025-281-5587  
養育費相談 TEL 025-281-5546  
専門の相談員が親切に対応してくれます。  
月～金 9:30～16:30迄

**事務局**

柏崎市母子寡婦福祉やまゆり会  
柏崎市総合福祉センター内  
〒945-0045 柏崎市豊町3-59  
TEL 22-1411 FAX 22-1441



**やまゆり会の会員になります**  
何かご質問等がありましたらお書き下さい。

郵便番号

住所

フリガナ

氏名

電話番号 ( ) -

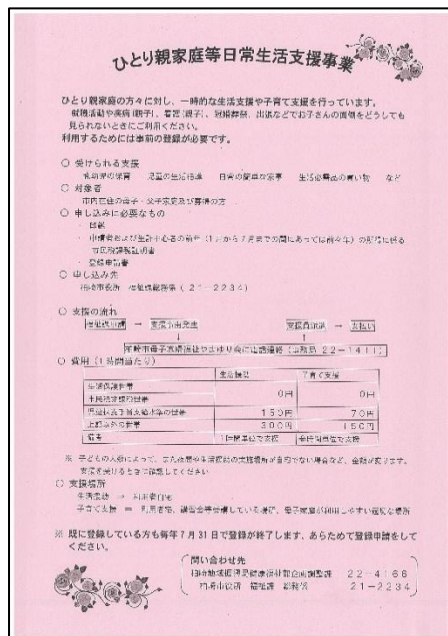
出典) 柏崎市資料「ひとり親家庭のみなさまへ」

#### ④事業の周知方法や支援員の確保について

事業の紹介は、主にチラシの配布（児童扶養手当申請など市からの郵送物への同封、市役所内の関係する窓口への設置）、市ホームページや広報紙への掲載などを通じて行っている。

支援員には新潟県の要綱に準じて、ヘルパー2級保有を条件としているが、支援員を増やすため、やまゆり会では研修費用の補助金を用意している。

### ひとり親家庭等日常生活支援事業 チラシ



出典) 柏崎市資料「ひとり親家庭等日常生活支援事業」

#### ⑤ひとり親家庭等日常生活支援事業実施の上での課題

依頼内容として、子どもの送迎を希望されるケースが多いが、旅客運送法などとの関係で対応が困難である。公共交通機関が十分でないという地域特性があるため、何とか要望に応えられるようにしたいと考えている。

ひとり親家庭等日常生活支援事業の実施については、「一時的な利用」が原則で、同一支援は年10回までとされている。恒常的に利用する場合は柏崎市教育委員会子育て支援センター子育て支援係が担当するファミリー・サポート・センターにおいて、子育ての手伝いをしてくれる人（提供会員）による支援を利用する必要がある。ただしファミリー・サポート・センターにおける互助活動は、経済的な理由から利用できない家庭もある。

以上